

いきいき安心プランⅦまつど

(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)

策定のためのアンケート調査

報告書

(市民アンケート調査 単純集計編)

本報告書の対象調査

若年者調査

一般高齢者調査

事業対象者・要支援認定者調査

「軽度」要介護認定者調査

「重度」要介護認定者調査

<目 次>

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査実施の概要	3
3. 調査結果の表示方法	6
4. 標本誤差について	6
第2章 アンケート調査 設問一覧表	9
1. 市民アンケート調査 設問一覧表	11
第3章 調査の結果	21
1. ご自身について	23
2. ご家族や生活状況について	30
3. 身体状況について	42
4. 食事・飲酒・喫煙について	52
5. からだを動かすことについて	59
6. 毎日の生活について	66
7. 地域での活動について	86
8. たすけあいについて	94
9. 住んでいる地域について	105
10. 認知症に関することについて	116
11. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて	124
12. 権利擁護・成年後見人制度について	146
13. 市の高齢者施策について	153
14. 介護に関することについて	164

15. 近親者（家族）に対する介護の実施状況について	168
16. ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況について	180

巻末資料 アンケート調査票 211

若年者調査 調査票	213
一般高齢者調査 調査票	223
事業対象者・要支援認定者調査 調査票	235
「軽度」要介護認定者調査 調査票	249
「重度」要介護認定者調査 調査票	263



第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和3年度から5年度までの3年間を計画期間とした「いきいき安心プランⅦまつど（第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画）」策定に向けて、市民の介護に対する考え方、保健、医療及び福祉サービスの利用実態や課題を分析・整理し、地域における高齢者施策の総合的な推進を図るための基礎資料として活用することを目的に実施しました。

2. 調査実施の概要

本調査の調査対象者、調査方法、実施期間及び回収状況は以下の通りです。

	若年者調査	一般高齢者調査	事業対象者・ 要支援認定者調査	「軽度」要介護 認定者調査	「重度」要介護 認定者調査
対 象	介護保険の要 支援・要介護認 定を受けてい ない市民	介護予防・日常 生活支援総合 事業対象の特 定を受けてい ない市民及び 介護保険の要 支援・要介護認 定を受けてい ない市民	介護予防・日常 生活支援総合事 業対象の特定を 受けている市民 及び介護保険の 要支援の認定受 けている市民	介護保険の要 介護認定1・2 を受けている 市民（施設入所 者除く）	介護保険の要 介護認定3・4・ 5を受けている 市民（施設入所 者除く）
年齢区分	40歳～64歳	65歳～	40歳～	40歳～	40歳～
基準日	令和元年11月1日				
母集団	164,600人	101,449人	6,180人	6,117人	3,528人
標本数	3,000人	10,500人	3,000人	3,900人	2,100人
標本割合	1.8%	10.4%	48.5%	63.8%	59.5%
抽出方法	住民基本台帳から15圏域による層化無作為抽出			住民基本台帳から無作為抽出	
1圏域あたり 抽出数	200人	700人	200人	—	
調査期間	令和元年12月20日～令和2年1月17日 (調査票回収については2/28まで有効。若年者調査については礼状兼督促状1回送付)				
調査方法	郵送配布・郵送回収				
配布数	2,996通	10,486通	3,001通	3,889通	2,072通
回収数	1,007通	5,555通	1,618通	1,587通	768通
有効回収数	1,004通	5,546通	1,614通	1,584通	768通
有効回収率	33.5%	52.9%	53.8%	40.7%	37.1%

第1章 調査の概要

調査にあたり、日常生活圏域を下記の通り 15 地域に分類し、調査票の配布・回収及び集計を行いました。

地区	地域
① 明第1	根本・吉井町・小根本・緑ヶ丘1～2丁目・松戸新田・仲井町1～3丁目・稔台・稔台1～8丁目・岩瀬・野菊野・胡録台
② 明第2西	栄町1～8丁目・栄町西1～5丁目・樋野口・古ヶ崎・古ヶ崎1～4丁目
③ 明第2東	上本郷・北松戸1～3丁目・竹ヶ花・竹ヶ花西町・南花島・南花島1～4丁目・南花島中町・南花島向町
④ 本庁	本町・松戸・小山・二十世紀が丘美野里町
⑤ 矢切	上矢切・中矢切・下矢切・三矢小台1～5丁目・二十世紀が丘柿の木町・二十世紀が丘萩町・大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）西側〕・栗山
⑥ 東部	河原塚・田中新田・紙敷・紙敷1～3丁目・東松戸1～4丁目・秋山・秋山1～3丁目・高塚新田・和名ヶ谷・大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）東側〕・二十世紀が丘丸山町・二十世紀が丘中松町・二十世紀が丘戸山町・二十世紀が丘梨元町
⑦ 常盤平	金ヶ作・千駄堀・常盤平1～7丁目〔常盤平団地の担当地域を除く〕・常盤平双葉町・常盤平西窪町・常盤平陣屋前・常盤平柳町・牧の原・牧の原1～2丁目・日暮・日暮1～8丁目・常盤平松葉町
⑧ 常盤平団地	常盤平1丁目のうち駅上市街地住宅・常盤平2丁目のうち1街区・常盤平3丁目のうち3街区・中央市街地住宅・駅前市街地住宅・セントラルハイツ・常盤平4丁目のうちE街区・常盤平7丁目のうち2街区・けやき通り住宅
⑨ 五香松飛台	串崎南町・串崎新田・松飛台・五香1～8丁目・五香西1～6丁目・五香南1～3丁目・五香六実
⑩ 六実六高台	高柳・高柳新田・六実1～7丁目・六高台西・六高台1～9丁目
⑪ 小金	幸田・幸田1～5丁目・中金杉1～5丁目・平賀・東平賀・殿平賀・久保平賀・大金平1～5丁目・大谷口・小金・小金きよしヶ丘1～5丁目・小金上総町・小金清志町1～3丁目・ニツ木・ニツ木二葉町・根木内（国道6号西側）
⑫ 小金原	根木内（国道6号東側）・小金原1～9丁目・栗ヶ沢・八ヶ崎1丁目・小金1700番台
⑬ 新松戸	横須賀1～2丁目・新松戸1～7丁目・新松戸東・新松戸北1～2丁目・小金1100～1300番台
⑭ 馬橋西	旭町1～4丁目・外河原・七右衛門新田・主水新田・新松戸南1～3丁目・西馬橋1～5丁目・西馬橋相川町・西馬橋蔵元町・西馬橋幸町・西馬橋広手町・馬橋（JR線西側）
⑮ 馬橋	馬橋（JR線東側）・三ヶ月・幸谷・八ヶ崎・八ヶ崎緑町・八ヶ崎2～8丁目・中根・新作・中根長津町・中和倉

調査ごとの圏域別配布数及び回収状況は以下の通りです。

■ 若年者調査

圏域	本庁	明第1	明第2東	明第2西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	200	200	199	198	200	200	199	200	200	200	200	200	200	200	200
回答数	64	57	64	68	58	61	72	81	68	72	56	76	70	70	67
回答率	32.0%	28.5%	32.2%	34.3%	29.0%	30.5%	36.2%	40.5%	34.0%	36.0%	28.0%	38.0%	35.0%	35.0%	33.5%

※ 圏域情報を伏せて回答：0人

■ 一般高齢者調査

圏域	本庁	明第1	明第2東	明第2西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	700	700	700	699	700	700	699	698	700	697	700	697	700	699	697
回答数	367	397	384	362	352	342	387	383	383	391	309	393	356	386	352
回答率	52.4%	56.7%	54.9%	51.8%	50.3%	48.9%	55.4%	54.9%	54.7%	56.1%	44.1%	56.4%	50.9%	55.2%	50.5%

※ 圏域情報を伏せて回答：2人

■ 事業対象者・要支援認定者調査

圏域	本庁	明第1	明第2東	明第2西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
回答数	111	119	115	95	113	102	114	111	102	115	98	98	108	102	110
回答率	55.5%	59.5%	57.5%	47.5%	56.5%	51.0%	57.0%	55.5%	51.0%	57.5%	49.0%	49.0%	54.0%	51.0%	55.0%

※ 圏域情報を伏せて回答：1人

■ 「軽度」要介護認定者調査

圏域	本庁	明第1	明第2東	明第2西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	165	413	176	255	186	276	295	456	289	187	96	358	311	258	179
回答数	64	169	77	101	74	102	119	194	134	68	30	147	131	98	74
回答率	38.8%	40.9%	43.8%	39.6%	39.8%	37.0%	40.3%	42.5%	46.4%	36.4%	31.3%	41.1%	42.1%	38.0%	41.3%

※ 圏域情報を伏せて回答：2人

■ 「重度」要介護認定者調査

圏域	本庁	明第1	明第2東	明第2西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	87	215	103	136	105	176	164	246	164	109	44	182	167	119	83
回答数	31	74	33	51	32	52	55	103	64	43	11	64	71	48	36
回答率	35.6%	34.4%	32.0%	37.5%	30.5%	29.5%	33.5%	41.9%	39.0%	39.4%	25.0%	35.2%	42.5%	40.3%	43.4%

※ 圏域情報を伏せて回答：0人

3. 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 無回答のもの、単一回答の設問において複数回答したもの、選択の判別がつかないものについてはいずれも「無回答」として集計しています。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 選択肢「その他」の回答割合が10%を超えているものについては、代表的な意見や内容を記しています。ただし、調査票で記入欄を設けていない場合や、回答者数が少数のため分類が困難な場合は記載していません。

4. 標本誤差について

調査結果の比率から母集団(各調査属性を備えた対象者全体)の傾向を推測する際には、統計上の誤差(標本誤差)を考慮する必要があります。各回答比率での標本誤差は次の早見表の通りとなります。

例えば有効回答数が5,555人である一般高齢者調査の場合、ある質問の回答が50%となったとき、松戸市内の一般高齢者のこの質問に対する回答は、48.7%~51.3%の間にあると考えてよいこととなります。一方、一般高齢者調査のうち、ある圏域での有効回答数が300人である場合は、ある圏域にお住まいの一般高齢者のこの質問に対する回答は44.4%~55.6%の間にあると考えてよいこととなり、対象となる有効回答数が少なくなるほど標本誤差が大きくなります。

- ・ 標本誤差の算出式(ただし、信頼度を95%とする。)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

(N = 母集団数
n = 有効回答数
P = 回答比率)

各回答比率における標本誤差早見表

回答比率 (P) 有効 回答数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
7,500	±0.7%	±0.9%	±1.0%	±1.1%	±1.1%
5,555	±0.8%	±1.0%	±1.2%	±1.3%	±1.3%
5,000	±0.8%	±1.1%	±1.2%	±1.3%	±1.4%
3,000	±1.1%	±1.4%	±1.6%	±1.7%	±1.8%
2,000	±1.3%	±1.7%	±2.0%	±2.1%	±2.2%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
750	±2.1%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.3%	±4.4%
300	±3.4%	±4.5%	±5.2%	±5.5%	±5.6%
200	±4.2%	±5.5%	±6.3%	±6.8%	±6.9%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%
50	±8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.9%

第 2 章

アンケート調査 設問一覧表

1. 市民アンケート調査 設問一覧表

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
この調査票を記入されたのはどなたですか。					
この調査票を記入されるのはどなたですか。	○	○	○	○	○
あなた（宛名のかた）ご自身についてうかがいます。					
令和元年11月1日現在のあなたの年齢を記入してください。	○	○	○	○	○
あなたの性別をお答えください。	○	○	○	○	○
あなたの職業をお答えください。	○	○			
あなたの要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれですか。			○	○	○
一年前の要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれでしたか。			○	○	○
あなたのご家族や生活状況についてうかがいます。					
家族構成を教えてください。	○	○	○	○	○
あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。	○	○	○	○	○
↳その期間は下記のうちどれですか。	○	○	○	○	○
↳その方の年齢はいくつですか。	○	○	○	○	○
世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成30年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。	○	○	○	○	○
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	○	○	○	○	○
あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。	○	○	○	○	○
あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。		○	○	○	○
↳介護が必要になった主な原因は何ですか。		○	○	○	○
↳主にどなたの介護を受けていますか。		○	○	○	○
ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50代のひきこもりの子を80代の親が面倒見るケースが増えているという社会問題が8050問題と呼ばれています。ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。	○	○	○	○	○
あなたの身体状況についてうかがいます。					
あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）	○	○	○	○	○
この6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	○	○	○	○	○
現在のあなたの健康状態はいかがですか。	○	○	○	○	○

第2章 アンケート調査 設問一覧表

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	○	○	○	○	○
あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドッグを受けましたか。	○	○	○	○	○
あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。	○	○	○	○	○
歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。	○	○	○	○	○
↳毎日入れ歯の手入れをしていますか。	○	○	○	○	○
噛み合わせは良いですか。	○	○	○	○	○
食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。					
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	○	○	○	○	○
お茶や汁物などでむせることがありますか。	○	○	○	○	○
口の渇きが気になりますか。	○	○	○	○	○
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。	○	○	○	○	○
お酒は飲みますか。	○	○	○	○	○
タバコは吸っていますか。	○	○	○	○	○
どなたかと食事をとにする機会はありますか。	○	○	○	○	○
からだを動かすことについてうかがいます。					
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。		○	○	○	○
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。		○	○	○	○
15分位続けて歩いていますか。		○	○	○	
過去1年間に転んだ経験がありますか。		○	○	○	○
転倒に対する不安は大きいですか。		○	○	○	○
週に1回以上は外出していますか。		○	○	○	○
昨年と比べて外出の回数が減っていますか。		○	○	○	○
外出を控えていますか。		○	○	○	
↳外出を控えている理由は何ですか。		○	○	○	
↳どのような支援があれば外出できますか。		○	○	○	
外出する際の移動手段は何ですか。		○	○	○	○

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
毎日の生活についてうかがいます。					
物忘れが多いと感じますか。		○	○	○	
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。		○	○	○	
今日が何月何日かわからない時がありますか。		○	○	○	
バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)		○	○	○	
自動車と運転免許について、あてはまるものはどれですか。		○	○	○	
自分で食品・日用品の買い物をしていますか。		○	○	○	
自分で食事の用意をしていますか。		○	○	○	
自分で請求書の支払いをしていますか。		○	○	○	
自分で預貯金の出し入れをしていますか。		○	○	○	
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。		○	○	○	
新聞を読んでいますか。		○	○	○	
本や雑誌を読んでいますか。		○	○	○	
健康についての記事や番組に関心がありますか。		○	○	○	
友人の家を訪ねていますか。		○	○	○	
家族や友人の相談にのっていますか。		○	○	○	
病人を見舞うことができますか。		○	○	○	
若い人に自分から話しかけることがありますか。		○	○	○	
趣味はありますか。		○	○	○	○
↳趣味は何ですか。		○	○	○	○
ペットを飼っていますか。		○	○	○	○
↳ペットを飼っていて困ることはありますか。		○	○	○	○
生きがいはありますか。	○	○	○	○	○
↳「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。	○	○	○	○	○
あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください)。	○	○	○	○	○
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	○	○	○	○	○

第2章 アンケート調査 設問一覧表

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	○	○	○	○	○
普段の生活に困っていることはありますか。		○	○	○	
あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。		○	○	○	○
フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。	○	○	○	○	
地域での活動についてうかがいます。					
あなたは、町会または自治会に加入していますか。	○	○	○	○	○
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。	○	○	○	○	
① ボランティアのグループ	○	○	○	○	
② スポーツ関係のグループやクラブ	○	○	○	○	
③ 趣味関係のグループ	○	○	○	○	
④ 学習・教養サークル	○	○	○	○	
⑤ 元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場		○	○	○	
⑥ はつらつクラブ（老人クラブ）		○	○	○	
⑦ 町会・自治会		○	○	○	○
⑧ 収入のある仕事		○	○	○	
会・グループに1つでも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。		○	○	○	
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）</u> として参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	
↳活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはありますか。	○	○	○	○	
たすけあいについてうかがいます。					
あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。	○	○	○	○	
反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。	○	○	○	○	
あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいますか。	○	○	○	○	
反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。	○	○	○	○	
家族や友人知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。	○	○	○	○	○

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。		○	○	○	
この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。		○	○	○	
よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。		○	○	○	
あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合い活動として、自分ができる範囲で何か協力することはできますか。	○	○	○		
あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力することができることはどんなことですか。	○	○	○		
あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。	○	○	○		
↳協力できない理由は何ですか。	○	○	○		
「地域共生社会」という言葉・内容を知っていますか。	○	○	○	○	
↳地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。	○	○	○	○	
住んでいる地域についてうかがいます。					
あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。	○	○	○	○	○
あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。	○	○	○	○	○
あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。	○	○	○	○	○
避難するにあたり不安はありますか。	○	○	○	○	○
最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。	○	○	○	○	○
↳市外の医療機関にかかる理由はなんですか。	○	○	○	○	○
↳医療機関は以下のどれにあたりますか。	○	○	○	○	○
最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。	○	○	○	○	○
かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。	○	○	○	○	○
それは何か所くらいですか。	○	○	○	○	○
その際、お薬手帳は持参していますか。	○	○	○	○	○
高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いませんか。		○			
認知症に関することについてうかがいます。					
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	○	○	○		
認知症に関する相談窓口を知っていますか。	○	○	○		
認知症は誰でもなる可能性がある病気と知っていますか。	○	○			

第2章 アンケート調査 設問一覧表

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。	○	○	○		
認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○
松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。	○	○	○		
松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうが良いと思うものはどれですか。	○	○	○	○	○
介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。					
介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（25項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていましたか。		○	○		
以下のサービスについて利用したことがありますか。また、名称や内容を知っていましたか。		○	○	○	
① 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）		○	○	○	
② 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）		○	○	○	
③ 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）		○	○	○	
あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。			○	○	○
↳次のような在宅サービスを利用していますか。			○	○	○
↳介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。			○	○	○
↳あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。			○	○	○
以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また（※介護が必要になった場合）、利用してみたいと思いますか。（※若年者、一般高齢者のみ表記）	○	○	○	○	○
① 小規模多機能型居宅介護					
② 看護小規模多機能型居宅介護	○	○	○	○	○
③ 定期巡回型訪問介護・看護	○	○	○	○	○
あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に（あなたは今後）どこでどのような介護を受けたいと思いますか。	○	○	○	○	○
↳あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。	○	○	○	○	○
↳その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。	○	○	○	○	○
↳あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。	○	○	○	○	○
今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどのように考えますか。	○	○	○	○	○

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
権利擁護・成年後見人制度についてうかがいます。					
あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○
あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。	○	○	○	○	○
あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。	○	○	○	○	○
あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○
虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。	○	○	○	○	○
成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていましたか。また、必要になったときに利用したいですか。	○	○			
「市民後見協力員」（専門協力員（弁護士、司法書士、社会福祉士など）とペアを組んで、法人後見をボランティアで活動いただく方）について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。この制度について、知っていましたか。また講座に参加してみたいと思いますか。	○	○			
市の高齢者施策についてうかがいます。					
福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また利用してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○
高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○
松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。	○	○	○	○	○
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどのように考えますか。		○	○	○	○
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどのように考えますか。		○	○	○	○
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。	○	○			
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○
介護に関することについてうかがいます。					
以下の名称について知っていましたか。					
① ケアラー	○	○	○	○	○
② ヤングケア	○	○	○	○	○
③ ダブルケア	○	○	○	○	○
男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取組が必要だと思いますか。	○	○	○	○	○
介護職のイメージとして持っているものはどれですか。	○	○			

第2章 アンケート調査 設問一覧表

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
近親者（家族）に対する介護の実施状況についてうかがいます。					
あなたは今（過去に）介護をしていますか。	○	○			
↳現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。 その方（要介護者）はどなたですか。	○	○			
↳その方（要介護者）はどこで生活していますか（生活していましたか）。	○	○			
↳介護の期間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
↳1日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
↳1週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
↳介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
↳その方の（要介護者）介護にあたり協力者はいますか（いましたか）。 あなたから見た続柄でお答えください。	○	○			
あなたは、お答えいただいた以外の方を同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。	○	○			
あなたは介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。	○	○			
↳どうしてそのように対応したのですか。	○	○			
↳仕事を続けていられた理由は何ですか。	○	○			
↳今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	○	○			
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。	○	○			
今後の介護の方法はどのように考えていますか。	○	○			
可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。	○	○			
↳既に申込みをしている施設はありますか。	○	○			
↳最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。	○	○			
↳施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。	○	○			

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況についてうかがいます。					
ご本人（あて名の方）を主に介護している方（以下「主な介護者」といいます。）は、ご本人から見てどなたですか。			○	○	○
令和元年11月1日現在のあなた（主な介護者）の年齢を記入してください。			○	○	○
あなた（主な介護者）の性別をお答えください。			○	○	○
あなた（主な介護者）の職業をお答えください。			○	○	○
現在、あなた（主な介護者）が行っている介護等についてお答えください。			○	○	○
ご本人（あて名の方）はどちらにいらっしゃいますか。			○	○	○
介護の期間はどの程度ですか。			○	○	○
1日あたりの介護の頻度はどの程度ですか。			○	○	○
1週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか。			○	○	○
介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか。			○	○	○
ご本人（あて名の方）の介護にあたり協力者はいますか。あなた（主介護者）から見た続柄でお答えください。			○	○	○
あなた（主介護者）は、ご本人（あて名の方）以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。			○	○	○
あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。			○	○	○
↳仕事を辞めることになった理由は何ですか。			○	○	○
↳仕事を続けていられた理由は何ですか。			○	○	○
↳今後も働きながら介護を続けていけそうですか。			○	○	○
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。			○	○	○
今後の介護の方法はどのように考えていますか。			○	○	○
↳可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。			○	○	○
↳既に申込みをしている施設はありますか。			○	○	○
↳最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。			○	○	○
↳施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。			○	○	○
あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。			○	○	○
在宅医療を利用してみたいと思いますか。			○	○	○
↳在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。			○	○	○

第2章 アンケート調査 設問一覧表

質 問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
↳在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか。			○	○	○
あなた（主な介護者）は、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。			○	○	○
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどのように考えますか。			○	○	○
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどのように考えますか。			○	○	○
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。			○	○	○
「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。			○	○	○
「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。			○	○	○
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。			○	○	○